

安全・安心な まちづくり

杉浦あきら すぎうら 「70歳」

鷺田区(現)



皆さまの支援により、3
期目の当選をさせていただきました

き、2期目の時以上にその責任の重さを感じています。人口減少時代に入っていますが、愛知県内の市町村と比べても、幸田町はまだまだ人口が増加していくと思われまます。特に町内においては、共働きの若い人々が多く、子育て環境の施設が不足しています。

私は安全・安心なまちづくり、子育て環境の整備、健康な生活環境づくりなどを推進していきたい、子どもも高齢者までが安心して、楽しく生活できるような幸田町を築いていきたいと考えております。

そのために、住民の皆さまの幅広い世代の意見や要望をできるだけ多くお聞きして、議会に届けたいと思います。今後とも皆さまのご支援、ご指導をよろしくお願ひ申し上げます。

緑豊かで安全な 魅力ある町に

都築 つづき 一三 かずみ 「75歳」

大草区(現)



三たび町政の場で働く機会を与えていただきました。責任の重さを自覚しつ

つ初心を忘れず住民の皆さまの負託に応えるべく議員活動を続けてまいります。光明寺川でのポンツク活動延べ2万人の方々に参加して頂きました。40年間続けていますオイスカ活動での緑化活動や、東日本震災で黒松の植林支援活動の経験を活かして、桜やモミジの樹木を楽しむ森林公園

を提唱します。また、自然や文化の豊かな我町を訪ねて見たいと思えるような、観光地の整備を進めるべく、地元の方の考えを具現化してまいります。また、発展の続く幸田町には、防犯活動はますます



重要となります。明るく、楽しく、仲良く暮らせる為にも地域ボランティアによる自主的な防犯活動の推進を図り、隣人による声かけ運動の意識高揚の方途を提案します。

皆さまのご支援により、大好きな幸田町のために働く機会を与えていただきました。お一人おひとりの小さな声を聴き、「よく聴き、よく動き、女性の目線で未来を考える」を、モットーに働いて参ります。

一人の小さな声を 聴き町政に

水野千代子 みずのちよこ 「67歳」

岩堀区(現)



皆さまのご支援により、大好きな幸田町のために働く機会を与えていただきました。

届けて参ります。そして、町民の皆さまが、今住んでいる地域で若者も、高齢者も、それぞれの人生設計を描き、安心して生活できるまちづくりに取り組んで参ります。今回の統一地方選挙で、身近なはずの地方政治に対する有権者の関心をどう高めるか、議員のなり手不足への取り組みを含め、検討すべき課題が浮き彫りになりました。この課題を含め議会改革を推進して参ります。

今後の人口増に対応するため、「子どもを安心して育てられる環境整備」「高齢者・障がい者の支援拡充」「男女共同参画、個性を認め合う社会の推進」「防災・防犯対策の充実」「手話言語条例の制定」などに向け、きめ細やかな課題やニーズを敏感にキャッチして、女性ならではの視点で町政に



町ホームページで
手話動画を配信

町政と議会の有様を考える

笹野 康男 「72歳」

里区(現)



本町の現在の人口は4万2000人強であります。毎年人口は増加している幸田町であります。

今回の町会議員選挙は、二期連続無投票で終わりました。果たしてこれで良かったでしょうか。

今後、議会改革について、議会の有様、議員の有様等、町民の皆様と一緒に考えていかなければならないと考えます。

また、議会だけでなく、町政も同じであります。人口が増えれば増えるほど、行政運営もむずかしくなっています。快適に住みやすい町を望むのは町民の願いであります。しかし、この



数年、全国で地震や集中豪雨で大きな災害が続きましました。本町も安全、安心な町づくりに傾注していく必要があります。議会として行政をしっかりと監視・チェックし、町民のために幸せな幸田町をめざしていきます。今後とも皆様の御支援、御指導をよろしくお願い申し上げます。

第一回臨時会

監査委員を選任

監査委員(議会選出)

杉浦あきら(鷺田区)

大嶽弘氏の任期満了にともなう。

(全員賛成で同意)

町税条例の一部改正

個人町民税関係

令和3年度から、個人町民税の非課税の範囲を見直し、扶養手当受給者で、前年の合計所得金額が135万円以下のひとり親に拡大。

Q 対象者数と影響額は。

A 4人で10万7500円。

軽自動車関係

令和元年10月1日から令和2年9月30日までに取得した自家用軽乗用車の環境性能割の税率を1%軽減。

Q 軽自動車税環境性能割税額はどのようになるか。
A 軽減により約200万円の減収となる見込み。

Q グリーン化特例(軽課)の見直しは。
A 令和4年度分から電気自動車等に限定するもの。

(全員賛成で可決)

令和元年度一般会計補正予算 9600万円

10月の消費税率10%への引き上げに伴い、全額国費で低所得と子育て世帯を支援するプレミアム付商品券事業。最大2万円まで2万5000円分の買い物ができる。

Q 対象者は。

A 住民税非課税者5000人。

Q 子育て世帯で、2016年4月2日から2019年9月30日生まれた2000人。

Q 申請、周知は。

A 非課税者は本人の申請が必要。

子育て世帯は引換券を個別に送付。引換券を金融機関で金券と交換する。チラシ、ポスター、ホームページなどで知らせる。

Q 利用できる店舗は。
A 町内業者で手を上げた店舗。

Q 利用期限は。

A 今年10月1日から翌年の2月末日まで。

(全員賛成で可決)

※各議員の抱負は、議席番号順に掲載しています。

編集後記

5月8日、議会広報特別委員会が設置され、編集委員も新たなメンバーとなりました。

「議会だより」は、町民と議会の架け橋として、議会を身近に感じ、ありのままをわかりやすく伝える役割を持っています。引き続きご愛読をお願いします。

丸山千代子

議会広報特別委員会

委員長	丸山千代子
副委員長	水野千代子
委員	足立 初雄
委員	廣野 房男
委員	伊澤 伸一
委員	鈴木 久夫
委員	都築 幸夫
委員	石原 昇
議長	稲吉 照夫
発行責任者	



委員長 議長 副委員長